

公益法人 日本放射線腫瘍学会
第33回 学術大会長 立候補者名簿

立候補者

氏名	所属	開催予定地
伊丹 純	国立がん研究センター中央病院 放射線治療科	東京
白土 博樹	北海道大学医学研究科 放射線医学分野	札幌

(以上 2名、五十音順)

立候補者 所信表明

■伊丹 純

放射線腫瘍学は近年、IT技術の長足の進歩の恩恵を受け革命的な前進をとげたが、いつも臨床医学として患者を我々が診る視点が大事である。医学の原点を見る、患者に寄り添う放射線腫瘍学を強調したい。

■白土 博樹

日本放射線腫瘍学会は、放射線治療の普及、放射線治療技術の高精度化、腫瘍学に基づいた臨床研究の推進、これらを支える人材育成、そして世界に向けた研究発信に大きく寄与して参りました。患者さんを中心において、過去の歴史を振り返り、現在の課題を見つめ、その解決に向けて将来を熱く語り合う、そんな伝統が息づくJASTROの学術大会の会長を務めさせていただければ、存外の幸せです。微力ながら、JASTROに恩返しすべく、全力を尽くします。何卒よろしくお願ひします。